

「ひろしま里山グッドアワード」の結果報告について

1 要旨・目的

中山間地域にあるものを生かした好事例を表彰することによって、地域活動に対するモチベーションの維持を図るとともに、地域づくりの身近なモデルが新たな人材の活動を生み出す好循環へと繋げる。

令和 3 年度は 16 件の応募の中から、次の取組を「さとやま未来大賞」及び「未来のたね賞」に決定し、令和 3 年 12 月 19 日に表彰式を実施した。

2 現状・背景

中山間地域の振興については、中山間地域振興計画に基づき、全ての活力の源泉となる「人づくり」に重点的に取り組んでいる。

これまでに育成してきた人材は、県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かした取組を行っているが、それらの好事例を可視化し、広く周知する機会が不足している。

3 概要

(1) 対象

団体（非営利公益活動団体〔法人格の有無を問わない。〕、地域住民組織、企業等）又は個人が行う、県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かして、新しい価値やサービスの提供につなげている取組

(2) 事業内容（実施内容）

次のとおり「さとやま未来大賞」及び「未来のたね賞」を決定した。

【さとやま未来大賞】

「地域の児童数を 100 人に！」（実施主体：100 プロ）（主な活動地域：北広島町）

<概要>

地域の児童数が 100 人を大幅に下回ることが予想される中、多世代の仲間による地域の魅力発信や、子ども向けの自然体験会など多様なプロジェクトの実施により、「児童数を 100 人」にすることを目指した取組。



【未来のたね賞】

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]	
<p>菜の花 Salad Salt</p> <p>「緩やかに続くコミュニティづくり」と「お母さん方の手仕事と学生の新しい発想から生まれるものづくり」の両立を目指し、地域おこし協力隊・大学生・町民が連携して、「菜の花 Salad Salt」の製作・販売を行う取組</p>	<p>菜の花くらぶ [東広島市]</p>	
<p>地元ガイドとめぐる e-BIKE の旅とサイクリング拠点づくり</p> <p>近年のサイクリングブームを取り入れ、サイクリストが集うスポットとしての大朝駅の活用や、e-BIKE ツアーによる新たな観光プロダクトを開発する取組</p>	<p>有限会社 大朝交通 [北広島町]</p>	
<p>贈ろう森 - 1本の木がつなぐ。人と自然の物語 -</p> <p>森の苗や土を活用した育成キットを使い、苗作りをしながら防災や環境保護を学ぶことのできるワークショップを開催し、参加者が苗を半年間里親として育てたのち、森に贈る取組</p>	<p>一般社団法人 My Japan [広島市]</p>	
<p>まこもプロジェクト</p> <p>～休耕田をまこも栽培で活用する新しい参加型社会貢献プロジェクト～</p> <p>中山間地域の休耕田を活用して、まこも（イネ科の多年草）を栽培し、女性目線でお茶・入浴剤・まくら・アイピローなどの商品を開発するとともに、まこもファンを作るためのコミュニティを運営する取組</p>	<p>まこも プロジェクト [北広島町, 安芸高田市, 竹原市]</p>	

(3) スケジュール

今後、「さとやま未来大賞」に決定した取組について、他の地域づくり活動の参考となるよう、効果的な紹介手法等について検討する。

(4) 予算（単県）

4,750 千円

4 その他（関連情報等）

令和3年度「ひろしま里山グッドアワード」の概要

賞の種類	さとやま未来大賞（1件）、未来のたね賞（4件程度） ※ 大賞の副賞として、活動の紹介映像を制作
応募期間	令和3年8月5日（木）～9月30日（木）
応募方法	専用ホームページの応募フォームによる
1次審査	10月上旬にアドバイザー及び県による選考会を実施し、5件程度を選定
一般投票	令和3年11月8日（月）～12月12日（日） ※ 投票はインターネットによる。投票数は21,826票。また、候補団体の特集記事や取組の紹介動画を作成し、実践者の活動を広くPRした。
アドバイザー	藻谷 浩介氏（株式会社 日本総合研究所 主席研究員） 新里 カオリ氏（立花テキスタイル研究所 代表） 伏見 崇宏氏（ICHI COMMONS 株式会社 代表取締役）
表彰式	令和3年12月19日（日） ※「ひろしま さとやま未来博 2021」クロージングイベントと連携実施 